

様式第5（第1条関係）

| 土地形質変更概要書                  |                   |                |             |                |
|----------------------------|-------------------|----------------|-------------|----------------|
| 施行地の現況                     | 現況傾斜              | 有・無            |             | 隣地の地盤との関係      |
| 施行の目的                      |                   |                |             |                |
| 風致地区の区分<br>〈緑地率〉           | 第1種〈50%〉(a)       | 第2種〈40%〉(b)    | 第3種〈30%〉(c) |                |
| 区分別敷地面積                    |                   |                |             |                |
| 敷地の合計面積(A)<br>=(a)+(b)+(c) |                   | 敷地に必要な緑地率      |             |                |
| 木竹が保全される土地の面積(ア)           |                   | 行為地の所有別        |             | 自己所有地・借地       |
| 適切な植栽が行われる土地の面積(イ)         |                   | 緑地率((ア)+(イ))/A |             |                |
| 有効な植栽等の本数及びその他の措置※         | 高木 本、低木 本、その他 ( ) |                |             |                |
| 木竹の処理方法                    |                   |                |             |                |
| 土量及びその高さ                   | 切土                | 立方メートル<br>メートル | 盛土          | 立方メートル<br>メートル |
| 跡地の処理方法                    |                   |                |             |                |
| その他参考事項                    |                   |                |             |                |

- 備考 1 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。
- 2 有効な植栽等の本数及びその他の措置の欄において、その他の措置をする場合は、( )内に当該措置の内容及び面積を記入すること。
- 3 木竹の処理方法の欄には、木竹の種類、樹齢、本数、高さ及びその処理方法を記入すること。
- 4 必要があるときは、所要事項を調整して使用することができる。